

枚方公済病院 脳神経内科のご紹介

脳神経内科常勤専門医 1 名と京都大学からの非常勤医師 2 名の 3 名体制で脳神経内科の診療を行っています。

脳神経内科では脳や脊髄、神経、筋肉の病気を診ます。頭痛、脳血管障害、認知症、てんかん、パーキンソン病などの神経難病などが代表的な病気です。体を動かしたり、考えたり覚えたりすることがうまくできなくなった時にこのような病気を疑います。しびれ、めまい、力がはいらない、歩きにくい、ふらつく、引きつけ、むせ、しゃべりにくい、ものが二重に見える、頭痛、手足や体が勝手に動いてしまう、物忘れ、意識障害などの症状があります。全身をみる脳神経内科でどこの病気であるかを見極めて、たとえば骨や関節の病気なら整形外科へ、手術が必要ななら脳神経外科へ、精神的なものなら精神科や心療内科に、あるいは眼科や耳鼻科などの各専門科に紹介することもあります。

当院脳神経内科の強み

2022 年に赴任して以来、前職場で約 20 年間にわたって神経難病の治療に従事してきた経験を活かして、地域のパーキンソン病関連疾患をはじめとする神経難病患者の在宅診療の支援に取り組んでいます。

神経伝導検査・筋電図・脳波などの電気生理学的検査に関しては臨床神経生理学会認定専門医（筋電図・神経伝導分野、脳波分野）が担当して検査を行っています。

ボツリヌス治療についても日本ボツリヌス治療学会認定施注医が、片側顔面けいれん、眼瞼けいれん、痙性斜頸を主な対象として行っています。

認知症に関しては枚方市の認知症初期集中支援チームに参加しており、行政機関とも連携して認知症診断初期の包括的・集中的支援を行っています。

紹介して下さる先生方へのお願い

事前に紹介状を送っていただけると、内容に応じてなるべく受診当日に検査ができる様に手配しますので、よろしくお願いします。

脳神経内科科長
廣田 伸之（ひろた のぶゆき）



地域医療連携室 (072)808-0010

(月・火・金) 8:30-20:00、
(水・木) 8:30-17:15、(土) 9:00-13:00

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233